

3. 地域福祉組織・団体調査

大田区地域福祉計画策定のためのアンケート調査

アンケート調査ご協力のお願い

日ごろから、大田区政にご協力いただき、ありがとうございます。
 大田区では、「ともに支えあい 地域力ではぐくむ 安心して暮らせるまち」をめざして、次期「大田区地域福祉計画」を策定するに当たり、本アンケート調査を実施することとなりました。
 このたびの調査では、地域福祉の推進のために活躍されている全自治会・町会、ボランティア・NPO団体などの皆様を対象に、日ごろの活動状況や地域福祉の考え方、区の保健福祉施策に対するご意見・ご希望などをお聞かせいただきたいと考えております。
 なお、お答えいただいた内容は統計的に処理し、計画策定の目的以外では使用いたしません。お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年8月

大田区

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査は、平成29年9月1日現在の状況でお答えください。
- 2 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。
- 3 回答の○の数は、(○は1つだけ)(○は3つまで)(○はあてはまるものすべて)などと記載してありますので、それにあわせてお答えください。
- 4 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 5 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、設問ごとの注釈をよくお読みください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

9月15日(金)までに ご投函ください。

調査についての問合先

大田区福祉部福祉管理課調整担当 TEL 03-5744-1244
 FAX 03-5744-1520

1 貴組織・団体の概要について

問1 貴団体名をご記入ください。

問2 貴団体は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1 自治会・町会

2 ボランティア組織グループ(非法人)

3 NPO(特定非営利活動法人)

4 その他()

(問2で2~4のいずれかをお答えの方に)

問2-1 活動されているエリアをお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 大田区全域	区内全域でない場合、2~60の該当する番号に○をつけてください			
2 大森東	14 東馬込	26 北千束	38 仲池上	50 羽田空港
3 大森西	15 西馬込	27 東嶺町	39 蒲田	51 本羽田
4 大森南	16 南馬込	28 西嶺町	40 東蒲田	52 萩中
5 大森北	17 北馬込	29 北嶺町	41 西蒲田	53 東六郷
6 大森中	18 中馬込	30 田園調布	42 南蒲田	54 西六郷
7 大森本町	19 池上	31 田園調布本町	43 蒲田本町	55 南六郷
8 昭和島	20 中央	32 田園調布南	44 新蒲田	56 仲六郷
9 平和島	21 上池台	33 石川町	45 東糀谷	57 矢口
10 京浜島	22 雪谷大塚町	34 久が原	46 西糀谷	58 東矢口
11 城南島	23 東雪谷	35 南久が原	47 北糀谷	59 多摩川
12 東海	24 南雪谷	36 糀の木	48 羽田	60 下丸子
13 山王	25 南千束	37 千鳥	49 羽田旭町	

(同様に、問2で2~4のいずれかをお答えの方に)

問2-2 貴団体は、活動を始めてどのくらいになりますか。通算の年数でお答えください。(○は1つだけ)

1 1年未満	4 5年以上~10年未満	7 20年以上
2 1年以上~3年未満	5 10年以上~15年未満	
3 3年以上~5年未満	6 15年以上~20年未満	

2 活動状況について

問6 貴団体が現在取り組んでいる主な活動、今後重視したい活動について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれあてはまるものすべて)

回答例	現在取り組んでいる主な活動	今後重視したい活動
1	(ア) 高齢者福祉 (見守りや定期訪問、健康づくりなど)	1
2	(イ) 障がい者福祉 (施設訪問、交流活動など)	2
3	(ウ) 子育て支援 (子育ての悩み相談、育児グループの支援、子どもの居場所など)	3
4	(エ) 青少年健全育成 (不登校、閉じこもり対策など)	4
5	(オ) その他保健福祉関係(内容:)	5
6	(カ) 環境 (ゴミ出し、リサイクル、放置自転車、花壇の植栽の手入れなど)	6
7	(キ) 防犯・防災対策 (巡回パトロール、情報提供、避難訓練など)	7
8	(ク) 交通安全対策 (交通安全運動期間中の見守り、交通事故防止啓発活動など)	8
9	(ケ) 社会教育 (生涯学習など)	9
10	(コ) 季節行事の運営 (お祭りや伝統行事など)	10
11	(サ) その他 ()	11

(自治会・町会の方のみにかがいます)

問7 地域住民からの相談は、どのような形で持ち込まれることが多いですか。(○は3つまで)

1	本人や関係者からの電話	5	地域包括支援センターからの連絡
2	本人や関係者が訪れる	6	ボランティア・NPO団体等からの連絡
3	区からの連絡	7	民生委員児童委員からの連絡
4	社会福祉協議会からの連絡	8	その他 ()

(同様に、問2で2~4のいずれかをお答えの方に)

問2-3 活動会員の年代別の人数をご記入ください。

※活動会員とは、サービスを提供する側の会員です。サービス利用会員数は含みません。

区分	10~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
人数	人	人	人	人	人

問3 設立のきっかけは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1	友人や知人と何かを始めたくて
2	近所の人と呼びかけあって
3	同じ悩みを抱えた人が集まって
4	趣味のサークルなどが発展して
5	職場の同僚と呼びかけあって
6	区や社会福祉協議会から呼びかけられて
7	自治会・町会など既存団体の仲間と呼びかけあって
8	その他 ()

問4 貴団体の主な活動資金は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1	会員の会費、寄付	6	区や外郭団体などからの業務委託
2	サービ利用者 (会員や区民等) の利用料	7	区などからの補助金・助成金
3	バザーや販売活動など	8	その他
4	区民からの寄付	()	
5	企業や民間団体などからの寄付		

問5 貴団体の活動の場として、どのような施設を利用していますか。

(○はあてはまるものすべて)

1	貴団体所有の施設	4	企業の開放施設 (グラウンド、会議室など)
2	区などの公共施設	5	メンバーの住宅、私有地
3	民間の営利施設 (会議施設、喫茶店など)	6	その他 ()

問8 貴団体が、現在困っていることはありますか。(○は3つまで)

1	新規会員が集まらない	9	ニーズに合った活動ができていない
2	指導者・リーダーが育たない	10	活動がマンネリ化している
3	会員の高齢化	11	活動範囲が広がらない
4	活動に必要な機材の不足	12	活動の専門知識や技術などの研修機会が少ない
5	活動資金が足りない	13	事故への責任、保険に不安
6	活動拠点(場所)の確保が難しい	14	活動支援の情報が得にくい
7	情報発信する場や機会が乏しい	15	その他()
8	他の団体と交流する機会が乏しい	16	特にない

問9 貴団体では、活動を行ううえで、他の団体や機関と連携の必要性を感じますか。

(○は1つだけ)

1	日々強く感じる	2	ときどき感じる	3	感じない
---	---------	---	---------	---	------

(問9で1か2のいずれかをお答えの団体に)

問9-1 連携の必要性を感じるのほどのようなときですか。(○はあてはまるものすべて)

1	イベントなどで人手が足りないとき
2	課題を解決するためのスキルや情報が不足しているとき
3	相談者が複合的な課題を抱えているとき
4	相談者に対して専門的な支援が必要とき
5	その他()

問10 貴団体では、活動を行ううえで、以下のような団体や機関と連携・協力関係がありますか。

(○は5つまで)

1	区役所の関係部署	12	青少年対策地区委員会及び青少年委員
2	社会福祉協議会	13	保護司会
3	生活再建・就労サポートセンター	14	障がい者団体など当事者団体
4	JOBOTA	15	商店街
5	地域包括支援センター	16	民間企業
6	自治会・町会	17	医療機関
7	シニアクラブ	18	警察署
8	ボランティア・NPO団体	19	消防署
9	保育園・児童館	20	児童相談所
10	学校	21	民生委員児童委員
11	民間の社会福祉施設や社会福祉事業者	22	その他()
		23	連携することはない

(問10で1~22に1つでも○をつけた団体に)

問10-1 どのような団体とどのような連携を図っているか(図ったか)可能な範囲でお答えください。(特徴的なものを2つまで)

連携した団体名(団体連絡先)	連携の内容
【例】ボランティア団体△△△△ (代表 大田太郎 5744-12××)	【例】△△△主催の高齢者との懇談を目的とした昼食会に調理の手伝いや高齢者の話し相手として参加している。
()	
()	

問11 今後、貴団体の活動を充実させていくために必要なことは次のうちどれだと思いますか。(○は3つまで)

1	他の団体との交流や協働の機会を増やす
2	地域の住民に活動内容を積極的にアピールしていく
3	新たな担い手を育成していく
4	民生委員児童委員との交流・協力関係を深めていく
5	会員相互の交流を活発にしていく
6	行政との連携を深める
7	専門的な研修・勉強会などの機会を増やす
8	その他()

問12 今後、貴団体の活動を発展させるため、どのような団体と連携を深めていきたいですか。
(〇は5つまで)

1 区役所の関係部署	12 青少年対策地区委員会及び青少年委員
2 社会福祉協議会	13 保護司会
3 生活再建・就労サポートセンター	14 障がい者団体など当事者団体
JOBOTA	15 商店街
4 地域包括支援センター	16 民間企業
5 自治会・町会	17 医療機関
6 シニアクラブ	18 警察署
7 ボランティア・NPO団体	19 消防署
8 保育園・児童館	20 児童相談所
9 学校	21 民生委員児童委員
10 PTA	22 その他 ()
11 民間の社会福祉施設や社会福祉事業者	23 連携することはない

問13 貴団体は、活動内容などの情報の発信はどのように行っていますか。

(〇はあてはまるものすべて)

1 ホームページ	5 個人的な会話 (口コミ)
2 SNSやメールマガジン	6 区報
3 チラシやパンフレットの配布	7 区民活動情報サイト (オーちゃんネット)
(配布場所:)	8 社会福祉協議会が発行している情報誌
4 機関紙などの発行	9 その他 ()
(発行: 年に 回 ・ 不定期)	10 特に発信していない

問14 貴団体は、活動に必要な行政情報をどこから入手していますか。

(〇はあてはまるものすべて)

1 知り合いを通じて	6 民生委員児童委員を通じて
2 区役所の窓口や区設掲示板	7 福祉サービス事業所や職員を通じて
3 区報	8 他の団体を通じて
4 区のホームページ	9 その他 ()
5 社会福祉協議会を通じて	10 特にない

問15 区民の方が気軽に活動に参加できるような、単発の参加 (おためし参加) は可能ですか。
(〇は1つだけ)

1 固定メンバーでの継続的な活動しかないため、単発の参加は難しい
2 活動の内容によっては、単発で参加してもらえらるものがある (活動内容:)
3 常に単発の参加でよいので、参加してもらえらると助かる (活動内容:)
4 その他 ()

問16 貴団体の活動を充実させるために、行政に対して特に要望や期待することは次のどれですか。(〇は3つまで)

1 区民に対して活動のPRをしてほしい
2 活動に必要な情報を提供してほしい
3 団体運営上の助言をしてほしい
4 他団体との連携を支援してほしい (ネットワーク化、交流会の開催など)
5 個々の活動の質を高める研修を開催してほしい
6 その他 ()

3 地域福祉活動の活性化に必要なことについて

問17 活動を通じて、地域の問題点や課題はどのようなものがあると思いますか。

(〇はあてはまるものすべて)

1 あいさつをしない人が多い
2 隣近所との交流が少ない
3 世代間の交流が少ない
4 地域で気軽に集まれる場がない
5 地域で、子どもやひとり暮らし高齢者の見守りができていない
6 障がいのある方への理解が不足している
7 子どもや高齢者、障がい者への虐待が疑われる家庭への対応方法がわからない
8 生活困窮者への支援が不十分
9 災害時の避難や安否確認など防災対策に不安がある
10 福祉サービスが区民に知られていない
11 対応が困難なケースの情報を得ても、つなぐ先がわからない (困難な事例:)
12 その他 ()

問18 地域での支えあいにより地域の課題を解決する仕組みづくりのために、地域の方たちが協力して取り組めることは、次のうちどれだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 | 子どもたちの成長を助けること (例：遊び相手、子どもの学習支援、こども食堂、一時預かり) |
| 2 | 高齢者を支援すること (例：話し相手、家事援助、移動支援、就労支援、社会参加支援) |
| 3 | 障がい者を支援すること (例：話し相手、家事援助、移動支援、就労支援、社会参加支援) |
| 4 | 外国の方を支援すること (例：日本語習得支援、翻訳・通訳、交流活動) |
| 5 | 健康づくり活動 (例：ラジオ体操など健康体操支援、栄養教室などの開催) |
| 6 | 防犯・防災活動 (例：地域の見守り活動、交通安全教室などの開催、火の用心活動、防災訓練) |
| 7 | さまざまな世代の区民が集まることのできる場づくり |
| 8 | その他 () |
| 9 | 特にない |

問19 貴団体の活動の中で、地域での支えあいにより地域の課題を解決する活動として、これまでもうまくいったこと、困難だったことについてご記入ください。

《 うまくいったこと 》
《 困難だったこと 》

問20 貴団体では、地域での支えあいにより地域の課題を解決する仕組みづくりのために、必要な個人情報を支援者が共有することについて、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|---|---------------|---|------------|
| 1 | 積極的に共有すべきである | 4 | 一切共有すべきでない |
| 2 | 必要があれば共有してもよい | 5 | わからない |
| 3 | あまり共有したくない | 6 | その他 () |

問21 地域での支えあいにより地域の課題を解決する仕組みづくりのために、地域の人材(担い手)を増やすには、どのようにしたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 | 地域で福祉に関する勉強会を実施するなど、地域福祉活動の重要性をPRする |
| 2 | 気軽に参加できる場の設定や催し物、行事を通じて、地域福祉活動への協力を呼びかける |
| 3 | 学校で福祉に関する教育を一層充実させる |
| 4 | 地域福祉を推進する協力員の登録制度を創設する |
| 5 | 地元の企業等と連携を図り、地域福祉活動へ協力を依頼する |
| 6 | その他 () |

問22 地域での支えあいにより地域の課題を解決する仕組みづくりのために、行政が取り組むことで特に必要なことは次のうちどれだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|---|
| 1 | 地域の福祉活動に参加するようPRする |
| 2 | 地域の方々相知り合う機会や活動する場所を確保する |
| 3 | ボランティア情報を収集・提供する窓口を充実する |
| 4 | さまざまな団体が地域の課題について話し合うための機会を設ける |
| 5 | 活動する場所や資金を支援する |
| 6 | 事業者、ボランティア、NPOと自治会・町会などの住民組織が連携する機会を増やす |
| 7 | その他 () |

問23 今後、大田区の保健福祉施策として、特に力を入れて取り組むべきことは次のうちどれだと思いますか。(〇は5つまで)

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | ひとり暮らし高齢者の見守り体制や介護施設の整備 |
| 2 | 障がい者が地域で安心して暮らすことのできる施策の充実 |
| 3 | 子どもを安心して産み育てられる子育て支援施策の充実 |
| 4 | だれもが健康で健やかに暮らせる健康づくりや介護予防の充実 |
| 5 | 低所得世帯の方に対して生活の安定を支援する施策の充実 |
| 6 | ボランティア活動など地域福祉の推進を図る施策の充実 |
| 7 | 地域福祉活動を担う人材の育成 |
| 8 | 福祉教育の充実 |
| 9 | 生きがいづくり、社会参加の促進 |
| 10 | 道路や施設のバリアフリー化の推進 |
| 11 | 判断能力に支障のある方への日常生活支援の充実 |
| 12 | 福祉サービスの質を評価する仕組みや苦情を解決する仕組みの充実 |
| 13 | 地域での支えあいと行政との協働による地域共生社会の実現のための施策の充実 |
| 14 | その他 () |

◎最後に、地域での支えあいにより地域の課題を解決する仕組みづくりに向けた地域の課題、行政への要望等、ご自由にご記入ください。

ご協力いただき大変ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、9月15日（金）までにご投函ください。